

新型コロナワクチンの 接種を進めています

県営のワクチン接種センターでも接種を受けられます

新型コロナワクチンは、県営の県央ワクチン接種センター（高崎市）や、東毛ワクチン接種センター（太田市）でも受けられます。

県営接種センターの申し込みについては、接種券に同封されているチラシをご確認ください。

県営接種センターの接種対象者区分や会場設置期間は変更されることがありますので、最新の情報は県ホームページ（<https://www.pref.gunma.jp/>）でご確認ください。

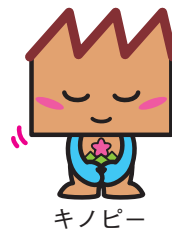


▲県ホームページ

ワクチン接種は強制ではありません

病気や飲んでいる薬との兼ね合い、それぞれの判断などにより、ワクチン接種を受けない、または受けられない人もいます。

職場や周りの人に接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをすることのないようお願いいたします。



キノピー

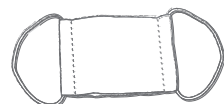
感染防止の継続をお願いします

今回接種されているワクチンは、「感染しても発症を防ぐ」「発症しても重症化を防ぐ」といった部分に主眼が置かれています。

そのため、ワクチン接種をしても「新型コロナウイルスに感染しなくなる」というわけではありません。

感染防止対策を怠ることにより、自身が感染するだけでなく、ワクチン接種未実施の周囲の人に感染を拡大させてしまう恐れがあります。ワクチン接種の有無にかかわらず、引き続きの感染防止対策をお願いいたします。

一方で、気温の上昇に伴いマスクの着用による熱中症のリスクも高まりますので、こまめな水分補給を行うなどの対策をお願いいたします。



各種相談窓口・問い合わせ



集団接種の予約・ 接種券に関する問い合わせ

桐生市予約受付センター（コールセンター）

☎ 44 - 8212

（月～土曜日、午前9時～午後5時（祝日を除く））

接種への不安や副反応・ 後遺症などに関する問い合わせ

ぐんまコロナワクチンダイヤル

☎ 0570 - 783 - 910

（全日 24 時間）

改めて
確認しましょう

新型コロナウイルス感染症に備えて一人ひとりができること

ポイント

01

基本は手洗い

ウイルスがついた手で口や鼻、目を触ると、粘膜から感染します。手指を清潔に保つことが大切です。帰宅時、調理の前後、食事前など、こまめにせっけんで手を洗うようにしましょう。

正しい手の洗い方



1 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



2 手の甲をのぼすようにこすります。



3 指先・爪の間を念入りにこすります。



4 指の間を洗います。



5 親指と手のひらをねじり洗います。



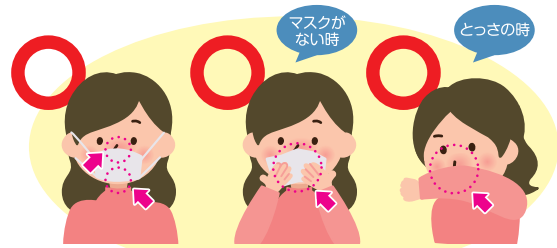
6 手首も忘れずに洗います。

ポイント

02

咳エチケットへの協力

マスクがなく咳やくしゃみをするときは、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、周囲の人から顔をそらしましょう。使ったティッシュはすぐゴミ箱に捨てましょう。



マスクを着用する
(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

ポイント

03

3つの密を避けましょう

集団感染を防ぐために、「3つの密」を避け、マスクなしでの会話や長時間の飲食には十分注意しましょう。

①換気の悪い
密閉空間



②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



イラスト出典：首相官邸ホームページより

世界に誇れる
こんにちは
市長です

桐生の日本遺産



先日、絹襴記念館を訪れ、現在開催中の企画展「桐生にもある『日本遺産』」を見学してきました。日本遺産は文化庁が認定するもので、地域の風土に根ざし、世代を超えて受け継がれているストーリーがあることや、魅力あふれる様々な文化財群を有していることが認定の要件となっています。企画展では、群馬県が古くから絹産業が盛んであったことにスポットをあて、絹産業にまつわる県内13か所の日本遺産について紹介しています。市内には日本遺産が6か所あり、桐生がいかに優れた織物のまちであるかを改めて実感しました。市民の皆様もこの機会にぜひ、企画展に足を運んでいただければと思います。「日本遺産」という素晴らしい宝を後世に引き継ぐため、皆様とともに未来へ向けて桐生の歴史文化の魅力を発信してまいります。

桐生市長 荒木 恵司